

Oral (Theme) | 生涯スポーツ研究部会：【課題A】ライフステージに応じた「スポーツの価値」とは？

🌱 Wed. Aug 27, 2025 3:30 PM - 4:30 PM JST | Wed. Aug 27, 2025 6:30 AM - 7:30 AM UTC 🌱
Room1301(Education and research building block1 3F 1301)

[1a1602-04] 生涯スポーツ研究部会【課題A】口頭発表①

Chair:Naomi Yoshioka

3:30 PM - 3:50 PM JST | 6:30 AM - 6:50 AM UTC

[生涯スポーツ-A-01]

鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」の初年度評価①（経）

*Masako Mizukami¹, Mayumi Onozato², Mariko Emukai³ (1. Sugino Fashion Callege, 2. Shobi University, 3. Tsurugashima Junior Sports Clubs Association)

3:50 PM - 4:10 PM JST | 6:50 AM - 7:10 AM UTC

[生涯スポーツ-A-02]

鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」の初年度評価②（経）

*Mariko Emukai¹, Mayumi Onozato², Masako Mizukami³ (1. Tsurugashima Junior Sport Clubs Association, 2. Shobi University, 3. Sugino Fashion Callege)

4:10 PM - 4:30 PM JST | 7:10 AM - 7:30 AM UTC

[生涯スポーツ-A-03]

地域スポーツ推進をめぐる中間支援組織の機能に関する事例研究（経）

広域スポーツセンター事業縮小後の現状と課題

*Misato Sugaya¹ (1. JOBU Univ.)

Oral (Theme) | 生涯スポーツ研究部会：【課題A】ライフステージに応じた「スポーツの価値」とは？

🌿 Wed. Aug 27, 2025 3:30 PM - 4:30 PM JST | Wed. Aug 27, 2025 6:30 AM - 7:30 AM UTC 🌿
Room1301(Education and research building block1 3F 1301)

[1a1602-04] 生涯スポーツ研究部会【課題A】口頭発表①

Chair:Naomi Yoshioka

3:30 PM - 3:50 PM JST | 6:30 AM - 6:50 AM UTC

[生涯スポーツ-A-01] 鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」の初年度評価①（経）

*Masako Mizukami¹, Mayumi Onozato², Mariko Emukai³ (1. Sugino Fashion College, 2. Shobi University, 3. Tsurugashima Junior Sports Clubs Association)

本研究は、鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」がまちづくりの視点を踏まえた新たな地域スポーツ活動の試みとしてマネジメントを検討することを目的とする。モデル事業となる「チームつるがしま」は、令和6年4月に「埼玉県地域クラブ活動推進計画」が発表され、埼玉県鶴ヶ島市教育委員会生涯学習スポーツ課が、地域クラブ化支援モデル事業として準備を重ねてきた。活動の目標は、行政機関や他の中学校との連携、世代を超えた指導者や異種目との交流など、地域で子どものスポーツ活動を支え、関係した人々が、生きがいややりがいを感じることができることを目指すものである。実際の事業である「チームつるがしま」の初年度の対象種目は、市内全中学校に部が存在するバスケットボール、実施場所は市内の中学校で各回を持ち回り、1回3時間、男女各4回、参加費無料で実施した。指導者は、県立高等学校部活指導者、スポーツ少年団指導者があたった。本研究では、取り組みの初期段階として、活動内容が目標に向けて効果的・効率的に機能しているか、生徒たちのニーズや活動への期待、関連するステークホルダーからの支援計画など、今後のマネジメントプロセスに有効な評価方法を意識し、調査項目を設定した。具体的には、参加生徒の基本特性、スポーツ特性およびバスケットボール特性をはじめ、今回のモデル事業での活動に関する期待や活動に参加して感じたことなどの項目に対して5段階スケールで回答を求めた。調査は、活動の中心となる参加生徒を対象に初回の事業実施前と、最終回の事業実施後および参加生徒の保護者に対し、質問紙によるアンケート調査を実施した。本モデル事業の準備段階で計画していた鶴ヶ島市の目指すまちづくりや支える人々の生きがい・やりがいなどの調査は今後の継続的な課題となるが、実際の初期事業展開での今回の調査結果から、今後のマネジメントの重要な課題等が示唆された。

Oral (Theme) | 生涯スポーツ研究部会：【課題A】ライフステージに応じた「スポーツの価値」とは？

📅 Wed. Aug 27, 2025 3:30 PM - 4:30 PM JST | Wed. Aug 27, 2025 6:30 AM - 7:30 AM UTC 🏠
Room1301(Education and research building block1 3F 1301)

[1a1602-04] 生涯スポーツ研究部会【課題A】口頭発表①

Chair:Naomi Yoshioka

3:50 PM - 4:10 PM JST | 6:50 AM - 7:10 AM UTC

[生涯スポーツ-A-02] 鶴ヶ島モデル「チームつるがしま」の初年度評価②（経）

*Mariko Emukai¹, Mayumi Onozato², Masako Mizukami³ (1. Tsurugashima Junior Sport Clubs Association, 2. Shobi University, 3. Sugino Fashion Callege)

令和6年4月に「埼玉県地域クラブ活動推進計画」が発表され、鶴ヶ島市では教育委員会生涯学習スポーツ課を中心に「地域クラブ化支援モデル事業」を立ち上げた。この事業は、行政機関、学校や保護者に加えて、スポーツ少年団や地域クラブ、地域コミュニティ、県内の企業や高校、大学などが協力し活動することを目標としている。子ども達の心身の成長と可能性を伸ばし、スポーツ活動を充実させ、支える人達の喜びややりがい、生きがいにつなげ、市の新しいまちづくりにつなげることをコンセプトとし、鶴ヶ島市の環境、規模、地域特性などを生かした組織・運営体制、指導体制づくりを目指していることが特徴である。初年度は種目をバスケットボールとし、令和6年12月の土日の通常の部活動の活動時間帯で、1回3時間男女それぞれ4回実施された。市内全中学校バスケットボール部の1，2年生を対象に募集し男子61%（37名）女子83%（44名）から参加の申し込みがあった。場所は市内の中学校体育館で各回を持ち周りで行われた。本研究では、「チームつるがしま」に参加した生徒（事業実施前後）及びその保護者（事業後）を対象に行った調査の結果から、特に自由記述での回答に対しテキストマイニングを用いて分析し、活動内容の効果や成果を検証した。その結果、生徒の活動に対する評価については「できる」「楽しい」などの肯定的な言葉が多く出現しており、継続希望の理由として「向上」「学ぶ」など、技術や知識を身に着けたいという意欲的な言葉が出現していた。また、「話せる」「他校」などの他者との関わりやコミュニケーションに関する言葉が多いことも確認された。保護者や指導者からは、運営や環境についての問題点、行政機関での調整の問題などの意見が挙げられた。今後の取り組みに向けての新たな視点や重要な課題を活用し、今後のマネジメントシステムを改善・向上させることが重要であると考ええる。

Oral (Theme) | 生涯スポーツ研究部会：【課題A】ライフステージに応じた「スポーツの価値」とは？

🌱 Wed. Aug 27, 2025 3:30 PM - 4:30 PM JST | Wed. Aug 27, 2025 6:30 AM - 7:30 AM UTC 🌱
Room1301(Education and research building block1 3F 1301)

[1a1602-04] 生涯スポーツ研究部会【課題A】口頭発表①

Chair:Naomi Yoshioka

4:10 PM - 4:30 PM JST | 7:10 AM - 7:30 AM UTC

[生涯スポーツ-A-03] 地域スポーツ推進をめぐる中間支援組織の機能に関する事例研究（経）

広域スポーツセンター事業縮小後の現状と課題

*Misato Sugaya¹ (1. JOBU Univ.)

国は総合型地域スポーツクラブの創設を進めると同時に総合型地域スポーツクラブの育成支援の役割を担う中間支援組織として、平成11年度より各都道府県に広域スポーツセンターの設置をモデル事業として進めてきた。広域スポーツセンターは、総合型地域スポーツクラブの創設や活動を効率的に支援できる組織として期待が寄せられてきた。平成23年度に文部科学省により実施された広域スポーツセンターを対象とした調査では、全国47都道府県すべてに61の広域スポーツセンターが設置されていたことが報告されている。しかしながら同調査において、人員配置や財源確保といった広域スポーツセンターの組織運営に関する課題も浮き彫りになっており、事業の縮小化や組織体制の見直し等が既に叫ばれていた。加えて、広域スポーツセンターに関する国の実態調査はそれ以降実施されておらず、先行研究においても自治体における地域スポーツの振興にまつわる中間支援組織を対象とした研究は僅少である。

そこで本研究は、広域スポーツセンター事業の縮小化に至ったX県を事例として中間支援の実情を明らかにし、総合型地域スポーツクラブ育成支援を担う中間支援組織の役割を再度検討することを目的とした。分析視角として、櫻井（2024）が提示する中間支援の概念と機能に沿って事例の解釈を試みた。X県は、県スポーツ協会スポーツ振興センター内に広域スポーツセンターを設置していたが、スポーツ振興センターの閉鎖に伴い広域スポーツセンターは事実上形骸化し、その事業承継の一端として令和3年度に「地域スポーツ推進団体連絡会議」を国庫補助金によって組織した。クラブ現地調査やクラブ登録審査委員会事業等を実施し、会議体としてのインフラストラクチャー機能は一定の成果が見られたが、資金循環やクラブ創設支援については未だ課題が多いことが明らかになった。